



# DISTRICT 2500 OBIIHIRO ROTARY CLUB

方針 友情と信頼

会長 後藤 裕弘

No. 2922

## 第3240回例会

平成23年2月16日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ  
BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS  
(地域を育み、大陸をつなぐ)

### ■プログラム

#### 【国際ロータリー世界理解月間】

帯広5ロータリークラブ・芽室ロータリークラブ・音更ロータリークラブ合同例会

講師経歴紹介 帯広東RC 国際奉仕委員会 鎌田 勉 理事



本日の講師清水宏保様の経歴をご紹介させていただきます。清水様は、帯広市で4人兄弟の末っ子として1974年に生を受けております。葵幼稚園、帯広栄小学校、帯広第一中学校、白樺学園高校を経て、日本大学に入学され卒業後、日本電産（サンキュー）に入社されました。1998年に同社を退職し、プロスピードスケーターを宣言、プロアスリートとしての活動を始めました。その間、1993年イタリアでのスピードスケートワールドカップにおいて、18歳で初出場、初優勝の快挙をあげ、その後の世界スプリント大会では、総合で3位となり一躍小柄で162センチの世界のトップスケーターの仲間入りをして注目を集めました。清水様は、幼き頃から気管支喘息を持ち、両親の厳しい鍛錬と本人の懸命な努力で喘息を上手にコントロールして、あのロケットスタートで冬季オリンピック出場4回、1998年長野オリンピックでは皆様ご承知のように500mで金メダル、1000mでは銅メダルを獲得され、私たちに感動を与えてもらいました。また、世界距離別選手権では優勝5回、ワールドカップ大会では3回の総合優勝など、数々の記録と上位入賞を果たしたのであります。日本大学大学院で、指導者の道を目指し、メダルを目指す選手にアドバイスができる指導者を目指しているとのことであります。また、この度は帯広市の観光大使の任命を受けまして、郷土のために大いに活躍されることであります。2010年昨年3月に現役引退を発表し、最近はベンチャー企業を起こしたのであります。ご家庭にありますては、昨年3月にモデルの麗子さんと結婚され、お互い忙しく活躍しております。今後は、ご自身の持病でございます喘息とスポーツとの付き合い方など、スポーツを通じて社会への還元にご期待をし、講師清水宏保様のご紹介をいたします。

#### 【スポーツを通じて社会への還元】

スピードスケート金メダリスト

清水 宏保様



スポーツを通じての社会還元ということですが、経営者の方々が多いので、このような話をさせていただきます。僕自身医療には大変興味があります。医学と医療とはそもそも違いますが、現在も重度の喘息患者が、学校の先生や医師の方々から「喘息患者がスポーツをやってはいけない。やったとしても大成はしないよ。」と言われていますが、当時それが、僕の何よりもモチベーションでした。それを覆す、前例を覆すことが僕のモチベーションでした。また、現在も喘息患者が世界で結果を出した選手というのは余りいないし、日本国内で例がありません。そういったことで、全国の医師や患者の方々に啓発活動を行っております。喘息という病気で年間3千人以上の方が亡くなっています。なぜそのような病気で亡くなっているかというと、治療法が確立されたのが、実は4年前の話です。日本では、薬の時間差タイムラグがあったり、諸外国に比べて日本の最先端の医療が使えないことがあります。そのような中で、僕らが今取り組むべき事は、スポーツを通じて社会還元=運動療法です。最近は、統合医療や運動療法という言葉があります。それを教えているのは、実は運動を知らない人たちが運動療法を教えています。なぜ膝が痛くなるか？膝を使い過ぎるから痛くなるのではなく、膝の筋肉が無くなるから膝が痛くなる。それだけ、筋力が大切だという事です。高校や大学でスポーツをやっていた経験者が、運動療法を提供していく事に取り組みたいと考えていました。スポーツをやってきた自分達が医療を感じるのは、大抵怪我をした時です。そこで初めて自分の体と向き合って体話（たいわ）をします。そして、そこで医療と向き合う。世界ではそのスポーツと医療を上手く融合させて、それを一般患者に還元しています。アメリカのソルトレイクシティで2002年にオリンピックが行われましたが、連携医療をまずそこに拠点として置きました。スポーツ選手は如何にその中心となり、医療として支えていくか内科、外科、歯科もすべて支える。初めはスポーツに特化してやろうということで始めました。でもそれが、今やアメリカの中心的な医療となっております。トッシュという企業です。それを、真似したいという訳ではなく、僕らが連携医療の中心となるように、もちろん医師が中心ですが、スポーツ選手が少しでも関わられたらと思います。それは大きな社会還元になります。そして、僕らのようなスポーツ選手が医療を学んで、その地元の地域に帰って子供達にスポーツを教える、自分がやってきたトップカテゴリーのスポーツを教える。僕らのような選手が鍼灸師などの国家資格を取得しながら、トレーニング理論、栄養学など、ヘルスコンシェルジュのような存在になって、地元に帰って子供達に教えるながら、介護とか、病院とか、そのようなところに還元していくシステム作りをすれば、スポーツのサイクルが出来上がります。このようなことを僕はスポーツの付加価値として上げていきたいと思っています。そのため医療のMBAを学んで、更にそこから3年医学部と連携を取りながらやれば医学部博士号が取得できます。そのようなシステム作りを今後取り組んでいきたいと思っています。ヘルスコンシェルジュ、運動療法を学んだ選手たちがなぜ子供たちに教えることが必要かというと、人間の脳は3歳から情操という感情の部分、最高の感情レベルというのが生まれます。本来、人間の脳を進化、育てていくには3歳から10歳までと言われています。3歳にその情操が育ち始めて、哲学もすべて脳で育ち始めます。子供たちに技術を教える事、その時期に最高の技術を教える事がゆくゆく世界のトップカテゴリーで活躍する選手たちになって行きます。帯広はスピードスケートに関して特化していますが、オリンピックを経験した選手が大勢いて、また環境として整っています。そういう意味で選手たちのサイクルを作っていくて欲しい最初の舞台に、モデルケースにして欲しいと思います。アスリートは、常に自分にストイックではならなければなりません。ただ、僕が現役を辞めて、やはり肉体にストイックにはなれないと感じています。色々なお付き合いもあり、飲み会もあり食事ありますので、体調管理をするのも大変です。皆さんは今、成人病や色んなものと向き合っていかなければなりません。現役辞めて1年ですが、体の不調というものは出始めています。それに対して、どう向き合ってくかというと、運動療法です。運動療法で成人病や骨粗鬆症も改善できます。今、国は、運動療法をやっていこう、そしてスポーツ省を作って行こうという動きになって

います。その部分をいかに考え作っていくかが、今一番の課題となっております。彼らにいかに医療意欲を持たせよう、スポーツを終えた後にどういった考え方で生かしていくか。教えていけるのは皆さんです。指導者です。それを分かって欲しいと言いますが、もちろん分かっていると思います。

実際、スポーツで大成した選手は、政治の世界とかメンテナーは多くいますが、ビジネスの現場で成功している人は殆どいません。しかし、ほかの選択肢もあってもいいと思います。社会還元、社会貢献という意味で創ってもいいと思います。そうすることによって、選手たちもスポーツをやる意味。そして、企業が投資する意味が出てくる。そのようなことを実現したいと思っています。医療は、統合医療と言われますが、西洋医学と東洋医学の壁があります。どうしても東洋医学を認められない部分があるのが日本の現状です。フランスとかアメリカは、そういうものを今受け入れる体制になっています。どこかの地域と連携し、患者が中心となってヘルスコンシェルジュがいて医師がいて連携していくことでその地域の医療費が削減できればと思っています。今後スポーツを通じて色々な事を学んで行くと思いますが、もっと大きなものとしてスポーツを社会還元として捉えていきたいと思っています。ご静聴いただきありがとうございました。

#### ■謝辞



#### 帯広西RC 鈴木 享会長

清水宏保さんすばらしいお話をいただきまして本当にありがとうございました。深い感銘を受けた会場すべてのロータリアンを代表いたしまして、お札を申し上げます。私はいつもテレビ等で、清水さんのインタビューを聞く事が、随分ありましたが、清水さんの言葉に、哲学的なものを感じておりました。

今日のお話も実はそうです。我々の想像を超える、まるで修行僧か武道者のような精進を続けられ、試合では34秒と100分の1秒にすべてを集中する、更にそういうトップカテゴリー中で10数年に渡って世界のトップに立ち続けて道を極めると、哲学的になるのか或いは哲学があったからこそ、トップアスリートになられたのか、今までの清水さんの言葉に触れて、私がいつも感じていた事でございます。私は、ノートに気が付いたこと聞いたこと、見たことを書き込んでおりましたが、その中には、清水さんの言葉が幾つもあります。今日のお話にもありました、モチベーションは覆すこと、或いは非常識を乗り越えて成果を出せばそれは常識になる。夢が大きくなればなるほど困難も大きくなる。夢がある限り困難は続くんだ。そして有名な言葉は、確かにこれは長野オリンピックの時だったと思いますが、最高の状態で滑っている時は、自分の周りが真っ白になってただそこを滑るというラインだけが光っていたと、大変感銘を受けた言葉です。私が最も感動した言葉は、長野オリンピックで2つ目の金メダルを手にした時のインタビューです。インターに今一番したいことは何ですか?と聞かれ、清水さんは母の手料理が食べたい、母の味噌汁が一番美味しいですからと答えられました。精神と肉体を限界まで高めて、厳しい緊張のレースを戦い抜いた時に、清水さんのその先にあったものは、お母さんの作る味噌汁であったという、その時の清水さんはまるで少年のような表情でした。今自分が築いてきたもの、戦ってきたものと最もシンプルな、最も大事な心の原点のような所がしっかりと繋がっているという事で、私は深く感動いたしました。これから大学院で勉強もされて、若い世代、特に子供の世界に非常に大きな何かを伝えること、これがライフワークとなり、それは極めて大切な事だと思います。大いに期待しております、そして、夢の33秒台は、日本からできれば十勝の子供達の中から出でもらいたいと願っておりますので、是非ご指導をよろしくお願ひいたします。そして同時に我々が

考えるべきことは、十勝だからこそ若い人たちに、これから子供達に清水宏保という人の道のりを、我々がしっかりと伝えていくことだと思います。そして今日は清水さんから、スポーツ文化やスポーツを支える面での帯広へのそして我々へのメッセージというものをいただきました。これもしっかりと受け止めて参りたいと思います。最後に今日のお話のお礼と、それから清水さんのこれからも素晴らしい人生であることに故郷から応援の気持ちを込めて、更には幼少の頃から30年を超える厳しく、しかしまた素晴らしい清水さんのアスリートの日々に敬意を表して、会場のすべての人から大きな拍手を送りたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

#### ■会長挨拶



#### 帯広東RC 加藤 昭治 会長

帯広5ロータリー、音更、芽室、7ロータリークラブの皆様こんにちは。本日のゲストは、先般のNHKのテレビで帯広の栄小学校の放映がありましたが、長野冬季オリンピックの金メダリストであります清水宏保様です。大変忙しい中を、日程を繰り合わせて何とか例会に来ていただきました。ご存知の通り、彼は日本人のスピードスケートで初の金メダルに輝き、長野から始まり4大会をすべて出場し、最後にソルトレイクでは銀メダルを獲得されております。さらにワールドカップも多数出場され、実に34勝という形で世界のトップスケーターとなり活躍をされて参りました。昨年引退され、これまで地元をはじめ大変多くのご支援と応援をいただいた事に対する感謝の気持ちを込めて、これからは、今まで得てきたスポーツを通じて、社会に還元していくと決意されました。日大のご出身で、今年の春から日大の大学院に進学し、医学の勉強を医科学という形で勉強される予定になっております。また、昨年からは帯広の観光大使になり、何か地域に貢献していきたい、世の中に貢献していきたいと考えておられます。この事につきましては、私たちロータリー活動に大変関わりのある事、通じる事ではないかと考えます。今月は国際ロータリー世界月間ですので、このテーマにも沿える最も相応しい話だと思い、お忙しいところ来ていただきました。会員の皆様には短い時間ではございますが、最後まで楽しんでいただきたいと思います。

#### ■会務報告

#### 帯広東RC 梶川 融 幹 事

- (1)・帯広南RC、2月14日(月)の例会は2月15日の縦下げ例会と致します。  
・帯広RC、2月16日(水)の例会は2月15日の縦上げ例会と致します。  
・帯広西RC、2月17日(木)の例会は2月15日の縦上げ例会と致します。  
・帯広北RC、2月18日(金)の例会は2月15日の縦上げ例会と致します。

(2)・帯広北RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 平成23年2月23日(水) 午後6時

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、2月25日(金)の縦上げ例会と致します。

(3)・帯広西RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 平成23年2月24日(木) 午後6時30分

場 所 シャレード

(4)・RI第2500地区第6分区【IM】開催のご案内

日 時 平成23年2月27日(日) 午後1時(受付12時~)

場 所 十勝川温泉 筧井ホテル

※尚、帯広南RC、2月28日(月)の縦上げ例会と致します。

帯広東RC、3月1日(火)の縦上げ例会と致します。

帯広RC、3月2日(水)の縦上げ例会と致します。

帯広西RC、3月3日(木)の縦上げ例会と致します。

帯広北RC、3月4日(金)の縦上げ例会と致します。



↑携帯サイトができました。  
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

#### ロータリーミニ見に情報

RI為替レートはどうやって決まるの?

これはRI本部のTreasury Management(資金管理)の部署と、日本事務局が市況を考慮に入れ、話し合いで決定しています。また、ロータリー章典には「交換レートを、7月1日および1月1日の6ヶ月ごとに定める。ただし、前月比3パーセント以上変動した場合は事務総長の裁量で調節できる。」とあります。財団への寄付はレートの条件の良い時に!

例会日/水曜日 12:30~13:30

例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行/クラブ広報

●委員長/倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・清田 幸孝・後藤 利之・高見 英樹

堀江 威光

●ホームページアドレス/<http://www.obihiro-rc.jp>